

家庭学習のすすめ

— 家庭学習の習慣化を目指して —

旭川市教育委員会

望ましい学習習慣・生活習慣づくりの大切さ

児童生徒の学習習慣・生活習慣は、学力とも関わりがあります。令和4年度に実施された全国学力・学習状況調査における各教科の調査の正答率と児童生徒質問紙調査の結果を分析したところ、学力と関わりの深い学習習慣・生活習慣が明らかになりました。

【学力と関わりの深い学習習慣・生活習慣】

- 家で自分で計画を立てて勉強している。
- 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、勉強する時間が長い。
- 土曜日や日曜日などの学校が休みの日に、勉強をする時間が長い。
- 朝食を毎日食べている。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 新聞を読んでいる。



〔令和4年度全国学力・学習状況調査の結果から〕

これらの学習習慣や生活習慣が身に付いている子どもは、学力も高い傾向があることから、確かな学力を身に付けるためには、家庭学習をはじめとした学習習慣や望ましい生活習慣が定着するよう、学校と家庭が協力して指導していくことが大切です。

これらの学習習慣・生活習慣に関する本市の子どもたちの実態は次のとおりです。

【旭川市の子どもたちの学習習慣・生活習慣の傾向】



- 朝食を毎日食べているよ！（小学校・中学校）
- 毎日同じくらいの時刻に寝ているよ！（小学校・中学校）
- 毎日同じくらいの時刻に起きているよ！（小学校・中学校）
- 家で自分で計画を立てて勉強をしているよ！（小学校・中学校）

- ▼普段、1日当たり1時間以上テレビゲームをする割合が高いよ。（小学校・中学校）
- ▼普段、1日当たり1時間以上携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをする割合が高いよ。（小学校・中学校）



〔令和4年度全国学力・学習状況調査 調査結果報告書より〕

家庭学習の目安

発達の段階に応じた家庭学習の取り組み方や時間、保護者の関わり方のポイントを、家庭学習の目安として次に示しています。これらを参考にしたり、学校の先生に相談したりしながら、子どもや各家庭の実情に応じて取り組みましょう。

小学校低学年

1年生 20分以上
2年生 30分以上

- ・国語の教科書を声に出して読む。
- ・平仮名や片仮名、漢字を書く練習をする。
- ・1年生は、たし算やひき算ができるように繰り返し練習する。
- ・2年生は、かけ算九九が、順番、逆、ランダムに言えるように繰り返し練習する。

<関わり方のポイント>

子どものそばにいて、正しく読んだり書いたりできるようアドバイスをしながら、できたことを褒めて、意欲を高めましょう。



小学校中学年

3年生 40分以上
4年生 50分以上

- ・国語の教科書をすらすらと読めるようになるまで、声に出して繰り返し読む。
- ・漢字やローマ字の読み書きの練習をする。
- ・小数や分数の計算ができるように繰り返し練習する。
- ・学校で学習した文章問題等にもう一度取り組む。

<関わり方のポイント>

子どもの学習の様子を見守り、子どもが分からないところと一緒に考えたり、解いてみたりしながら、少しずつ自分で学習できるようにしましょう。



小学校高学年

5年生 60分以上
6年生 70分以上

- ・漢字の読み書きや熟語を調べ、短文づくりで練習する。
- ・整数や小数、分数の四則計算を、速く、正確にできるように繰り返し練習をする。
- ・アルファベットの大文字・小文字を書いたり、英単語を書き写したりする。
- ・興味のある新聞記事や本を読み、根拠を明確にしながらか自分の考えを記述する。

<関わり方のポイント>

子どもに合った学習の仕方と一緒に考えたり、子どもが計画を立てて自力で学習を進められるようアドバイスしたりしましょう。



中学生

1年生 80分以上
2年生 90分以上
3年生 100分以上

- ・教科書やノートを使って、学校で学習したことを復習したり、問題集の問題を解いたりする。
- ・授業で興味を持ったことについて、更に調べ、学習した内容と関連付けて整理する。
- ・英単語や英文を繰り返し書いたり、読んだりして、意味、発音、つづりを覚える。
- ・次の日の学習内容を教科書で確認し、分からないところなどに印を付けて授業に臨む。

<関わり方のポイント>

学習の計画表を見てアドバイスしたり、学習内容に関心を持ち、話題にしたりしながら子どもの家庭学習への意欲が高まるよう励ましましょう。

家庭の環境づくり

子どもが意欲を持ち、集中して家庭学習に取り組むことができるよう、次の点に配慮することが大切です。

○生活のリズムを整えさせましょう。

- 睡眠時間を十分にとらせ、食事に気を配る。
- テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォンなどのメディアとの接触時間の目安やルールを決める。

○学ぶ雰囲気をつくりましょう。

- 学習時間を決めさせる。
- 身の回りの整理整頓をさせる。
- 学習計画を見て、アドバイスする。



○子どもとたくさん対話をしましょう。

- 学校での出来事を聞き、子どもが学校でがんばっていることや困っていることを理解する。
- 新聞記事やニュースなどを話題にして、社会への関心を広げる。
- 自分の夢を探したり、それを実現するための方法についてアドバイスしたりする。

○努力を認め励ましましょう。

- 「よくできたね」「きれいに書けたね」など、子どもの頑張りを認める言葉かけを行う。
- ものごとをやり遂げる成功体験を積ませることで子どもに自信を持たせ、次の目標に向けて励ます。